

# 新年のごあいさつ



広野町議会議長 黒田政徳

平成三十一年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

太平洋沿岸に巨大な津波を引き起こし、福島第一原子力発電所に致命的な損傷を与え、殆どの町民が避難生活を余儀なくされた大地震から7年10ヶ月が過ぎました。

さて、昨年の国内を振り返りますと、6月下旬から7月上旬にかけての西日本豪雨、更に9月6日に発生した北海道地震など、自然災害により多くの皆さんが被害に遭われました。改めて亡くなられた皆様方に対し、哀悼の意を表し、心よりお見舞いを申し上げます。

一方、当町においては、津波によって被害を受けた駅東側の様々な復興事業が完工し、そして新たな事業への着手も相次ぎ、着実な復興への歩みが形として目に見えるようになり、復興から創生へと進展した一年でありました。

しかし、今日まで8割を超える町民が帰還しましたが、子育て世代と子ども達が減少したことも現実であります。人口増加に向けた課題は、数多くありますが、特に若者世代の町内への移住定住促進やそのための子育て支援の充実を図る取り組みが、今後極めて重要となって参ります。

町議会と致しましては、町民の皆様には「広野に戻って良かった」「ここに住んで良かった」と実感できる施策の実現に向け、行政と共にふるさとの復興・創生に総力を結集して取り組みますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方にとりまして、本年が幸多き一年となり、さらなる飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。